

平成29年度 決算の概要 問財政課

市では毎年2回(6月と12月)財政状況を公表しています。今回は「平成29年度決算の概要」と「財政健全化法に基づく財政指標」をお知らせします。

※計数の端数処理により、合計と内訳が一致しない場合があります。

29年度一般会計決算の概要

29年度の一般会計決算規模は歳入が過去2番目、歳出が過去3番目となり、歳入歳出差引額(形式収支額)は21億3,606万円と過去最大の黒字となりました。

当該年度の実質単年度収支額(翌年度へ繰り越す財源や財政調整基金積み立て額等を考慮した場合の収支額)は、財政調整基金を2億9,597万円繰り入れたことなどにより、マイナス3,342万円となりましたが、増大する社会保障経費などの喫緊の課題にも対応しながら、将来都市像の実現に向けた実施計画事業の取り組みを進めると同時に、市が債務を負担することとなる土地開発公社の長期保有土地の解消を進めるなど、持続可能で安定した財政基盤の構築を進めた決算となりました。

歳入は、国庫支出金、繰入金、諸収入等が減少した一方、市税、都支出金、市債等が増えたことにより、547億5,799万円となり、28年度から3億7,523万円、率にして0.7%の増となりました。

市税は、市民税において個人分が分離課税所得等の増やマンション建設に伴う納税義務者の増により、法人分が電気等供給業の伸びなどにより増となったほか、新築家屋の増加等による固定資産税の増や経年重課の税率適用車両の増に伴う軽自動車税の増等により総体で4億1,449万円、率にして2.0%の増となりました。

歳出は、民生費が2億8,138万円増となった一方、土木費が3億5,600万円、教育費が2億6,410万円、公債費が4,559万円減となったことなどにより、526億2,193万円となり、28年度から額で2億9,597万円、率にして0.5%の減となりました。

民生費は、臨時福祉給付金(経済対策分)、地域密着型サービス整備費補助金等の増により、率にして1.0%の増となりました。

土木費は、久米川駅北口整備事業費、下水道事業特別会計繰出金等の減により、率にして7.8%の減となりました。

教育費は、中学校特別教室空調設備設置工事や小・中学校の水栓直結給水化工事等の減により、率にして5.4%の減となりました。

公債費は、長期債元金償還金等の減により、率にして1.1%の減となりました。

そのほかの主な事業は表2のとおりです。

表1 29年度 一般会計・特別会計決算額

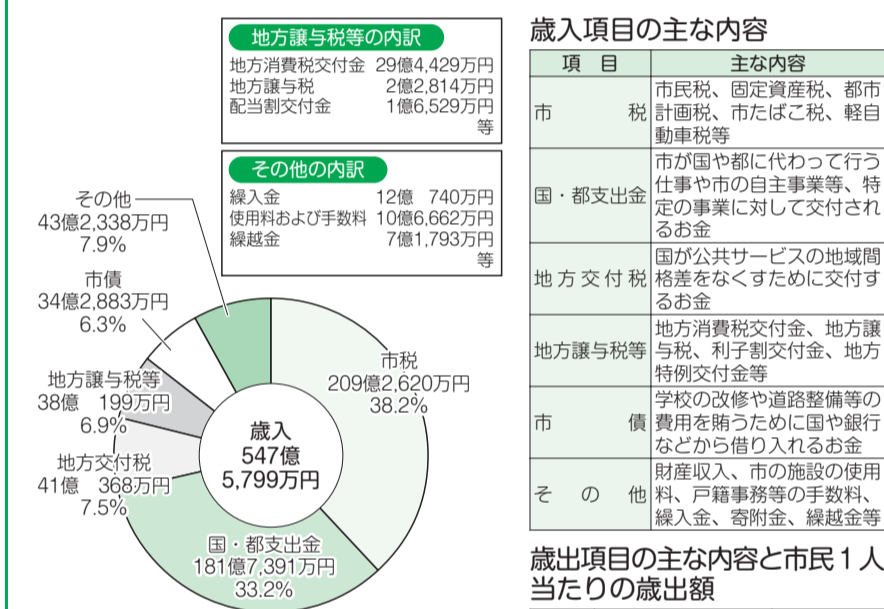
Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 歳入歳出差引額, 前年度比 (歳入, 歳出). Rows include 一般会計, 特別会計, and 全会計合計.

※△はマイナスを表す
※特別会計は、特定の事業・資金などについて、特別の必要がある場合(法律で定めるものを含む)、一般会計から区分してその収支を個別に経理する会計をいいます。

表2 29年度に実施した主な事業

Table with columns: 事業, 事業概要, 経費. Lists various municipal projects and their costs.

グラフ1 一般会計決算



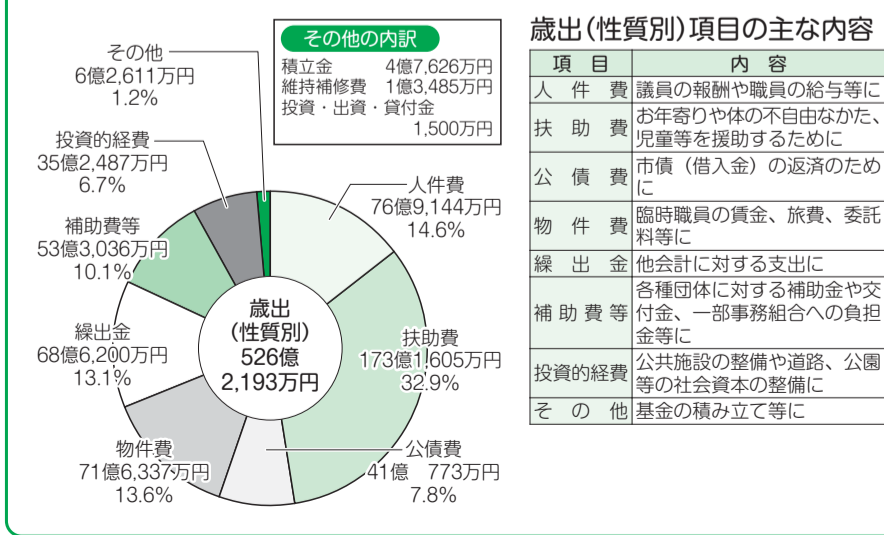
歳入項目の主な内容

Table with columns: 項目, 主な内容. Lists revenue items like City Tax, National/Local Government Expenditure, Local Government Grants, etc.

歳出項目の主な内容と市民1人当たりの歳出額

Table with columns: 項目, 主な内容, 市民1人当たりの歳出額. Lists expenditure items and per capita amounts like Living Expenses (19万500円), Education (3万700円), etc.

グラフ2 普通会計決算



歳出(性質別)項目の主な内容

Table with columns: 項目, 内容. Lists expenditure items categorized by nature like Living Expenses, Education, Public Debt, etc.